報道機関各位

学校法人
追手門学院

プレスリリース　No.32
2026 年 11 月 4 日配信

〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1-1　　URL: https://www.otemon.ac.jp/

追手門学院大手前中高ロボットサイエンス部が 11 回目 となる WRO 国際大会へ
認知症予防を目指す「楽楽器」ロボットで日本代表に選出

追手門学院大手前中・高等学校（大阪市中央区、校長：大橋忠仁）ロボットサイエンス部に所属する中学生チームが、世界規模のロボットコンテスト「World Robot Olympiad（WRO）」の日本大会である「WRO 2026 Japan 決勝大会」の Future Innovators 部門において認知症予防を目的とした「楽楽器」ロボットを開発・発表し、最優秀賞（1 位）を獲得いたしました。

本チームは日本代表として選出され、2026 年 12 月に開催される「WRO 2026 プエルトリコ国際大会」への出場権を獲得しました。なお本校の WRO 国際大会への出場は、今年で 11 回目となります。


全国大会で発表する様子

【３つのポイント】
〇認知症予防を目的とした「楽楽器」ロボットを開発・発表
〇プログラミングにとどまらず社会課題解決を目指す、先端的な STEAM 教育を結実
〇全国 2,000 超のチームから 10 枠の狭き門を突破し、世界大会進出

WRO（World Robot Olympiad）は、世界最大級のロボット競技大会の一つで、世界 100 カ国、20 万人以上の小中高大学生が参加しています。日本でも 2000 を超えるチームが集まり大会を開催しており、今大会ではその中で 10 チームしか進むことができない世界大会の枠を手に入れました。

都立産業貿易センターで 8 月 23 日に開催された全国大会（Future Innovators 部門）では、本校の中学生チーム（中学 3 年生 1 人、中学 2 年生 2 人）が、認知症予防（脳の活性化）を目的とした「楽楽器」ロボットを開発・発表しました。「楽楽器」ロボットは、高齢化社会において高齢者の暮らしを豊かにし、少しでも役に立つロボットを目指し、ボタンで音を奏でるピアノ「オクトピアノ」、リモコンを使って操作するギター「ウサギター」、画面の前で手を動かして鳴らすドラム「モンキードラム」の 3 つを生徒たちは開発しました。発表では「ベートーヴェン交響曲第 9 番」や「ふるさと」などを演奏し、独奏よりも合奏することで認知症予防につながると説明しました。実際に、特別養護老人ホームの介護士の方や入居者にも実演していただき、その効果を明らかにしたことも高く評価されました。生徒たちは日本代表として選出され、2026 年 12 月に開催される「WRO 2026 プエルトリコ国際大会」へ出場します。

【WRO2026 プエルトリコ国際大会 詳細】
日時：2026 年 12 月 8 日（火）～10 日（木）
場所：プエルトリコ
参加者：約 80 カ国、1,000 人以上
テーマ：ROBOTS MEET CULTURE

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】　追手門学院 広報課　　TEL：072-665-9166　織田・所